ふくいマラソン (仮称)基本計画書

令和3年3月

福井フルマラソン準備委員会

目 次

1	1 大会開催概要(1) 大会概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
2	2 コース設定(1)基本方針 ・・・・・・・(2)スタート・フィニッシュ地点(3)コース概要 ・・・・・・	・・・・・・・・・・ 5 気の考え方 ・・・・・・・ 6 ・・・・・・・ 7
3	3 大会運営 (1)基本方針 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
4	4 大会・地域の盛り上げ(1)基本方針 ・・・・・・・(2)事業展開 ・・・・・・・	· · · · · · · · · · · · · · · · 1 4 · · · · · · · · · · · · 1 4
5	5 地域への経済波及 (1) 基本方針 ・・・・・・・ (2) 事業展開 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	· · · · · · · · · · · · · · · 1 7 · · · · · · · · 1 7
6	6 広報 (1)基本方針 ・・・・・・ (2)広報区分 ・・・・・・・	
7	7 協賛等 基本方針 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2 0

1 大会開催概要

(1) 大会概要

大会名称: ふくいマラソン (仮称)

※ 仮称とし、大会スローガンやロゴマークとともに検討

開催時期: 北陸新幹線福井・敦賀開業後の春季、日曜日

競技種目: フルマラソン (42.195km)

日本陸連登録競技者の部、一般の部

ファンランの部、オンラインマラソンの部の併設を検討

制限時間:6~7時間(フルマラソン)

スタート時間: 午前9時

参加定員: 10,000人(フルマラソン8,000人、ファンラン2,000人)

将来的な規模拡大を想定

参加料: 10,000円~ (フルマラソン)





福井駅前(ハピリンとフクイティタ

(2) 開催目的

福井の魅力を全国に発信

・北陸新幹線の福井・敦賀開業、フルマラソン大会 の開催を契機として、福井が全国に誇る自然や 街並み等の景観、伝統的な食文化等を国内外に 発信する。



交流人口の拡大

北陸新幹線福井・敦賀開業の効果を最大限発揮 するため、多くの参加者に福井を満喫していた だき、福井のファン・リピーター獲得につなげる。



上段左から、あわら温泉、越前大野城、下段左から、武生中央公園、敦賀赤レンガ倉庫

地域経済の活性化

・開催都市を含む県全体に、宿泊や飲食、観光等 による経済効果を創出する。



上段左から、おろしそば、厚揚げ、下段左から、ソースカツ丼、いちほまれ

🕧 スポーツ文化の醸成

スポーツへの様々な関りを促進することで、 県民・市民の生活をより楽しく、より豊かな ものとしていく。



1 大会開催概要

(3) 大会コンセプト

北陸新幹線福井・敦賀開業という福井にとって新時代の幕開け

大会を通して**みんなに福井の新時代を実感**してもらえるよう、以下のコンセプトを設定

■ 福井発の全国に誇れるとんがったフルマラソン

- − 桜を大会の顔とし、福井のいいところ「福いいネ! | を国内外に発信
- ▶ 福井独自の取組を創出、シティプロモーションの最先端を走る

● 全都道府県で一番最後だけど一番新しい、新世代のフルマラソン

- 全国最後だからこそできる新しい大会のあり方を追求
- ・ これからの時代に対応した持続可能な大会へ

はしる、みる、ささえる + つながる フルマラソン

- ・ 走る楽しさを追求するとともに、誰もが主人公となれる大会へ
- 地域の盛り上がりを創出する福井のフラッグシップイベントへ

大会スローガン

開催目的やコンセプトに沿った、インパクトのあるスローガンを制作

大会ロゴマーク

福井らしく、デザイン性に優れたものを制作



(4) 大会の特徴

大会コンセプトに基づき、以下の仕掛けについて検討を進める。



トップランナーの支援・活用のカタチ

次世代トップランナーや未来ある子ども達を応援する、福井発のマラソン による地域活性化の枠組みを創出

- ・ 次世代トップランナーなど、大会上位入賞者への活動奨励金や県内ジュニア選手 育成のための助成を実施(応援ファンドの設置など)
- 大会上位入賞者を「ふくい応援ランナー(仮称)」に認定し、県民・市民で末永く応援
- ▶ 「ふくい応援ランナー(仮称)」が全国区の有名トップランナーになることで、福井をPR
- ・ 子ども達との交流の場を作り、未来のトップアスリートを目指すきっかけを創出

など

【イメージ】





マラソン × デジタル 新しい大会のカタチ

マラソンをデジタルで楽しむ、新しい大会のあり方を追求

- みんなが楽しく参加できるオンラインの大会の併設・活用
- マラソンを楽しく応援できる・される、新しいデジタル応援ツールの開発

など



マラソンで、みんなが "つながる" カタチ

マラソンのつながりが、人と人、人と福井をつなぐ仕掛けを展開

- ・ ボランティア向けイベントの開催など、ボランティアにとっても満足度が高く、活動のつながりを継続できる仕掛けを構築
- ・ 県内マラソン大会をはじめ、様々なイベントと連携し盛り上がりを創出
- ▶ 大会を契機とした県内周遊、ワーケーションなど、県外参加者と福井をつなぐ

など

1~3 のアイコンを配置

2 コース設定

(1)基本方針

開催目的、大会コンセプトに基づき、以下のとおりコースの検討を進める。

- 福井の魅力を感じることができる、 トップランナーからビギナーまで 走りやすいコース
 - ※ 日本陸上競技連盟の公認を取得



足羽川の桜並木

🙎 応援やおもてなしなどで多くの 県民・市民がランナーと触れ合う ことができるコース



提供:福知山マラソン実行委員会

③ ランナーやボランティア、応援者 の安全が確保でき、将来的な規模 拡大に対応できるコース



🕖 迂回路の確保など、交通への影響 を抑制できるコース



提供:北九州マラソン実行委員会

2 コース設定

(2) スタート・フィニッシュ地点の考え方

参加者の利便性(アクセス)、大会の円滑な運営(機能性)、福井らしさ(シンボル性)を考慮し、スタート・フィニッシュ地点を 「福井駅西口付近」とすることを基本として検討を進める。





海井本中中心

く選定理由>

- ・ 公共交通機関のハブとなる福井駅前のスタート・フィニッシュとすることで、大会 に関わる様々な関係者に高い利便性があり、ランナーへの訴求につながること
- ・都市型マラソンでは全国的に稀な駅前発着であり、話題性があること
- ・10,000人超のランナーが整列し、安全にスタートが可能な道路が存在すること
- 福井市中央公園や周辺施設を利用した手荷物預かり、更衣スペース、仮設トイレの設置など、運営に必要な諸施設が存在すること
- スタート・フィニッシュ会場を同一とすることで、選手の移動に係るストレス、 人員・手荷物等の輸送運搬や、会場設営に係る経費を軽減できること
- 中心市街地と連携したイベント開催によるにぎわいの創出など、地域の盛り上げや、 経済効果を高めるに相応しい会場であること

2 コース設定

(3)コース概要

全国に誇れる福井の桜の名所を中心に、以下のランドマーク、景勝地等を経由地の候補 としてコースの検討を進める。※検討結果によっては経由しない場合がある。



3 大会運営

(1)基本方針

大会実行委員会を設立し、協賛企業、ボランティアなどの協力を得ながら大会運営にあたる。

また、大会運営のデジタル化、新しい技術・手法を積極的に取り入れながら、効率的、効果的な大会運営を図る。

(2)競技計画

① 競技種目

プレマラソンの部ほか、以下の種目の開催を検討

- 子どもから大人まで、また障がいのある方にとっても気軽に参加でき、走る 楽しさを実感できる「ファンランの部」の設置
- 大会当日は参加できない応援者、ボランティア、大会スタッフも含め、一緒に楽しんで参加できる「オンラインマラソンの部」の設置



提供:魚津しんきろうマラソン



オンラインマラソン (イメージ)

② 招待選手等

本大会の趣旨を理解いただけるトップランナーや有名選手、タレントランナー等 の招待を検討

3 大会運営

③ 参加者募集

全国から多くの参加者を募集するとともに、以下の優先枠の設定を検討

▶ 県内参加枠 … 県内在住者向けの優先出場枠

・ 県外参加枠 … 大会出走権付きツアー参加者や寄付申込者(ふるさと納税等)

への優先出場枠

国外参加枠 … 姉妹都市・友好都市など国外参加者への優先出場枠

その他、障がいのある方にも参加しやすい運営に配慮

④ 参加者受付

開催の目的やランナーの利便性、スムーズな運営などに配慮した受付方法を検討

⑤ スタート・フィニッシュ

スタート・フィニッシュ会場における円滑な大会運営を実施

〈スタート〉

- ▶ 実行委員会によるセレモニー(開会式)の開催
- 整列のため、ランナー専用エリアをブロック別に設定
- 男女別更衣場所、手荷物預かり場所、トイレ(仮設含む)など、ランナーの導線 や雨天時の対応にも配慮した最適な配置を設定

くフィニッシュ>

- ▶ 完走後の記念品や給水・給食物等の配付エリアへのスムーズな導線、配置を設定
- ▶ 手荷物渡し、更衣会場、イベントエリアへのスムーズな導線や雨天時の対応にも 配慮した配置を設定

⑥ ランナーの安全確保

ランナーのスムーズな走行と安全を確保

- ・ 車両、歩行者のコース内横断は原則禁止
- ・ 可能な範囲でランナーと車両間の緩衝帯を設置

⑦ 給水・給食ポイント(エイドステーション)

コース上にランナーが利用する給水・給食ポイント(エイドステーション)を設置

- ・ 概ね5km地点以降に、2.5km~5km間隔に給水所を設置
- 給水所に併せ、数力所の給食所を設置※給食は競技にとらわれず、福井ならではのものを提供
- 給水、給食の不足に留意しつつ、ボランティアの「応援・励ましの声」など あたたかな触れあい、おもてなしを充実

8 記録計測とITによる選手管理

公認大会を目指すため、通過記録を計測

- ▶ 5km、10km、15km、20km、中間点、25km、30km、35km、40km地点で通過記録を計測
- 通過確認のため、折り返し地点での記録を計測
- 通過データを活用してランナーの現在位置を予測し、大会本部で集中管理

9 関門の設置

交通渋滞の抑制、円滑な大会運営のため、設定された制限時間での関門閉鎖を実施

- コースの各エリアにおける地域的な条件、交通状況を考慮し関門を設置
- 閉鎖時刻に間に合わないランナーをバスに収容

⑩ 沿道トイレの設置

沿道の公共施設、駐車場等の協力を得ながら仮設トイレを設置

⑪医療・救護

競技中の事故を未然に防ぐとともに、応急措置や救急搬送体制を確立

- 事前メディカルチェックの実施による事故防止対策
- 救護本部やスタート・フィニッシュ、コース沿道に救護所を設置
- 救護車両の配備、動線、搬送計画を策定
- ▶ 救急医師ランナー・AED隊を配置し、応急措置体制を確立

12 ペースセッター

みんなのチャレンジを応援するため、ペースセッターを配置

「3時間」から30分刻みを目安にペースセッターを配置

③ セレモニー

スタート前のセレモニー、大会上位者などへの表彰式を実施

▶ 表彰は上位入賞者のみでなく、性別・年代別の表彰も実施

14 参加賞

参加者にとって思い出に残り、福井の魅力が伝わるような参加賞を制作

フルマラソン、その他種目の参加者全員に配布

⑮ 完走記念品

フルマラソンを完走したランナーに対して、完走記念品を制作

フルマラソンの完走者全員に配布

16 SDG's (持続可能な開発目標)への対応

QRコード受付、大会プログラムや完走証のウェブ発行によるペーパレス化やプラスチックゴミの削減等、ランナーサービスと両立した大会運営を検討









(3)運営計画

① ボランティア活動の推進

自治会、企業、スポーツ・文化団体、学生等から幅広くボランティアを募集

- 受付、沿道、給水・給食、手荷物、救護所、案内・誘導等の幅広い活動に参画
- ・ボランティアにとっても満足度が高く、意欲的に継続して取り組んでいくことができる仕掛け、また、ボランティア同士が大会後もつながりを継続できるような仕掛けを検討

<取組例>

- ・大会に「おもてなしの部」を創設、ボランティア各自が主体的に取り組んだ おもてなし実績を募集し表彰、マニュアル化するなど、ともに運営に参画
- ・ボランティア参加者向けイベントの開催(お疲れ様会など)や、抽選で次年度 大会への優先出場権を進呈するなど、ボランティア特典の付与
- ・ボランティア参加回数等に応じたマイスター制度を整備
- ・プレ大会の開催を通したボランティア・ボランティアリーダーの育成 ※本大会の開催までにボランティアおよびリーダー候補を育成、大会運営の質を向上



提供:アールビーズスポーツ財団



提供:下関海響マラソン実行委員会事務局

② コース沿道対策

コース沿線住民、企業等への交通規制に対する協力を要請

交通規制の周知、規制時の迂回路への誘導を実施

県民・市民、企業、地域団体等への応援・おもてなしを要請

・県民・市民、企業、ふくい県民応援チーム、学生等による沿道の応援を募集

3 大会運営

③ 交通対策

交通渋滞の抑制や交通規制の周知、規制時の迂回路への誘導を実施

- ・県民・市民、企業等への交通規制、迂回路の周知
- ノーマイカーデーの設定を検討
- ランナーのスタート地点集合のため、交通輸送対策を検討※電車・バスの増便、参加者駐車場の確保とシャトルバスの運行等
- コース沿線の警察署、消防署、バス事業者等との出入庫時及びコース走行時の 綿密な連携と十分な協議を実施
- 緊急車両の動線確保
- 主要交差点における歩行者及び車両の横断対策を検討

④ 警備・誘導

ランナー、応援者等のスムーズな誘導と安全の確保

- 福井駅等での案内、イベント会場、スタート・フィニッシュ会場での誘導を実施
- スタート地点整列のため、ランナー専用エリアを設置
- スタート・フィニッシュ地点、沿道での雑踏警備の実施
- コース周辺の交差点からの一般車両の進入を防止

4 大会・地域の盛り上げ

(1)基本方針

県内参加者の裾野拡大に積極的に取り組むとともに、開催に向けた機運醸成を図る。 また、デジタルなどの新しい技術・手法を積極的に取り入れながら、県民・市民みんな に楽しんで参加してもらえる仕掛けを構築する。

(2) 事業展開

① 参加者裾野拡大事業

多くの県民・市民に参加してもらえるよう、以下の取組を実施・検討する。

ランニング教室の開催

競技団体等とも連携し、練習方法やランニンググッズの選び方、フルマラソン 経験者からの体験談など、実践的に学べる初心者向けの教室を開催

ランニングイベントの開催

有名ランナーやマラソンユーチューバー等を招聘したランニング教室、講演会等の開催

県内ランニングクラブ活動の推進

・県内のランニングクラブの横の繋がりを推進し、フルマラソンに向けた練習会や 記録会の開催等、草の根の活動を活性化

② 開催機運醸成事業

大会開催の歓迎ムードを高めていくため、以下の取組を実施・検討する。

県内マラソン大会との連携

- 各マラソン大会と連携したスタンプラリーを実施、抽選で本大会への無料出場権を進呈
- ・ 各マラソン大会の上位入賞者(最長距離部門を想定)に本大会への優先出場権を進呈

オンラインマラソン大会の開催

ランニングアプリを利用したオンラインマラソンを開催し、県内だけでなく全国にも情報発信(フィニッシュ動画配信によるマラソンコースのPR)

4 大会・地域の盛り上げ

③ プレ大会開催事業

本大会開催に向けた機運を高め、県民・市民の目標となるプレ大会の開催を検討する。

4 沿道応援・おもてなし事業

みんなに楽しんで参加してもらえるよう、以下の取組を実施・検討する。

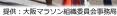
桜を感じることができる華やかな演出

スタート地点や沿道における桜の演出(例:桜吹雪、さくら色の手袋による応援)、 フィニッシュ地点等におけるフォトブースの設置など、華やかな演出を実施

応援スポット・パフォーマンスエリアの設置

- ▶ 県民・市民、観客のための応援スポットの設置や、公共交通機関の利用や応援バス を運行するなど、ランナーを複数回応援できる仕組みの構築
- 公募団体等によるパフォーマンスエリアを設置(例:チアダンス、よさこい)







デジタル応援ツールの開発

'ランナーや応援者相互で位置情報を共有し、確実に応援できる・されるアプリを 開発するなど、楽しい応援手法を構築

つぼみ(キッズ)エイドの設置

子ども達が主役のエイドステーションを設置、子どもの頃からマラソン大会に 触れることで走ることへの関心を高め、未来のランナーを目指すきっかけを創出

「ふくいマラソン(仮称)」応援事業の募集

市民団体や学校、企業等が企画する応援事業を公募するなど、大会を一緒に 盛り上げてもらう仕組みの構築(例:応援メッセージの掲出、クリーン作戦等)

4 大会・地域の盛り上げ

⑤ トップランナーの支援・活用による地域活性化事業



世界へ羽ばたく次世代トップランナー、本県の未来を担う県内ジュニア選手等の 挑戦する姿や成長物語を通して、**福井発のマラソンによる地域活性化の枠組みの 創出**を検討する。

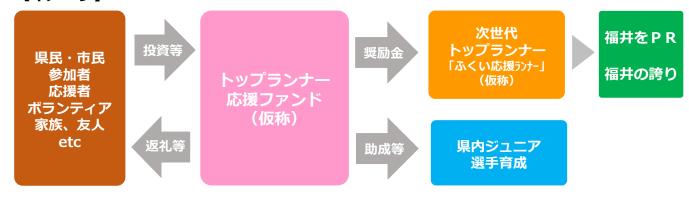
<支援>

- 世界へ羽ばたくネクストヒーロー、ネクストヒロイン候補(次世代トップランナー)を大会に招待
- 大会上位入賞者に対し、スポンサーやクラウドファンディング等を活用した応援ファンドから活動奨励金を贈呈
- ・ 応援ファンドを原資とした県内ジュニア選手育成機関(地域スポーツクラブ等)への助成を実施

<活用>

- 大会上位入賞者を「ふくい応援ランナー(仮称)」に認定し、県民・市民で未永く応援
- 「ふくい応援ランナー(仮称)」が全国区の有名トップランナーになることで、福井をPR
- 子ども達との交流の場を作ることで、スポーツへの関心や未来のトップアスリートを目指すきっかけを創出

【イメージ】



※ 上記事業を含め、効果的な事業の検討を進める。

5 地域への経済波及

(1)基本方針

大会の経済効果が最大化されるよう、大会を契機に年間を通して福井に来ていただける リピーターを増やすなど、その効果を開催都市だけでなく県全体へ波及させるための仕掛 けを構築する。

(2) 事業展開

① 福井の魅力発信・おもてなし事業

参加者に福井の魅力とおもてなしを実感してもらうため、以下の取組を実施・検討する。

「ふくいマラソン(仮称)」EXPOの開催

・ 大会開催の前日・前々日、企業出展ブースやステージイベント、福井の特産品 コーナーなど、ランナーやその同伴者だけでなく、県民・市民にも楽しんで もらえるマラソンEXPOを開催



エイドステーションにおける特産品の提供

・ 給水・給食ポイントで魅力的な福井の食を提供し、全国に発信

完走記念品等への地場産品の活用

▶ 完走記念品に福井の優れた地場産品を活用し、全国に発信

マラソンビジネスの創出

・ 県内企業における大会コラボ商品の開発、DX (デジタルトランスフォーメーション)等を 活用した新商品の開発支援など

② 中心市街地等連携事業

大会の経済効果を高めるため、以下の取組を実施・検討する。

中心市街地等と連携したイベントの実施

スタート・フィニッシュ地点の福井駅付近、経由地の丸岡城付近の商店街等と 連携した賑やかしイベントの開催

消費拡大キャンペーンの実施

ナンバーカードを利用した割引特典などの消費拡大キャンペーンを実施 ※ 飲食店においてナンバーカードを見せるとワンドリンク無料など

③ 観光誘客促進事業

大会の経済効果を県全体に波及させるため、以下の取組を実施・検討する。

参加者向け観光ツアーの企画・造成

大会出走権付ツアー、県外・国外からの参加者向け観光ツアーの企画・造成



上段左から、養浩館庭園、一乗谷朝倉氏遺跡、東尋坊、丸岡城、下段左から大本山永平寺(提供:大本山永平寺)、県立恐竜博物館、越前和紙の里、三方五湖

県内周遊クーポン等の発行

大会を契機に福井のファン・リピーターとなってもらえるよう、ナンバーカード 等を利用した県内観光施設における割引特典や通年のクーポン付イベントカレンダー の発行など

ワーケーションや移住定住プランの企画・造成

'大会を契機に福井に長い期間滞在し、福井の魅力をより満喫してもらえるよう、 ワーケーションや移住定住プランの企画・造成

6 広報

(1)基本方針

対象者(県内、県外・国外)と時期を意識した効果的な広報活動を実施する。

【県内向け】

開催機運の醸成や参加者の裾野拡大、大会への理解を図るため、準備段階から 丁寧な情報開示

【県外・国外向け】

大会を通して福井の魅力を発信し、国内外から多くの参加者と帯同者を呼び込む ための積極的な情報発信

(2) 広報区分

県内向け ・・・・ 開催周知 (開催日、交通規制、沿道応援) 、開催機運醸成、参加者・ボランティア募集

- ▶ 大会ホームページ、県・市広報誌、個別訪問、説明会などによる周知
- ▶ 地元新聞社、テレビ、ラジオ、タウン情報誌等によるPR
- 路面電車、路面バスなど交通媒体を活用したPR
- ► SNSを活用した情報発信 (Instagram、Twitter、LINE、YouTube)
- プレ大会の開催や各種イベントと連携した機運の醸成 等

県外向け … 開催周知 (開催日) 、参加者募集

- ランニング情報誌、ランナー向けインターネットサイトを活用したPR
- ・ 他都市のマラソン大会へのブース出展や、各種イベントと連携した P R
- SNSを活用した情報発信(Instagram、Twitter、LINE、YouTube)
- ・ 姉妹都市や友好都市への働きかけ 等

国外向け … 参加者募集

- 大会ホームページ(英語・中国語・韓国語)や旅行業者ホームページでのPR
- SNSを活用した情報発信(Instagram、Twitter、LINE、YouTube)
- ・ 姉妹都市や友好都市への働きかけ 等

7 協賛等

基本方針

本大会の開催趣旨に賛同いただける多くの企業や団体等とともに、地域全体で大会を支援・応援する仕組みを構築する。

また、県内外から多くの協賛を募集するとともに、ふるさと納税 (個人・企業) やクラウドファンディング、寄付など、多様な支援・応援のあり方を検討する。